

正会員 2 社、賛助会員 1 社の入会を承認

第 123 回理事会議事概要

令和 4 年 9 月 6 日（火）

ビルメンテナンス会館 4 階

第 1 審議事項

第 1 号議案 入会の承認について

その 1 正 会 員 株式会社 KIREI produce

その 2 正 会 員 株式会社 ファイブエーカンパニー

その 3 賛助会員 株式会社 荏原製作所

標記正会員 2 社、賛助会員 1 社の入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

■提案説明

その 1 株式会社 KIREI produce は平成 22 年に設立され、「おそうじ革命」という名称でハウスクリーニングのフランチャイズ事業を展開するとともに、自社でも清掃業を行っている会社である。ビルメンテナンス業務の販路拡大や同業他社との情報交流を目的に入会を希望している。推薦会社は、西新サービス株式会社である。

その 2 株式会社 ファイブエーカンパニーは平成 15 年に設立され、主にマンションの日常清掃を行っている会社である。若手社員の教育機会の充実を目的に入会を希望している。推薦会社は、エコル株式会社である。

その 3 株式会社 荏原製作所は大正 9 年に設立され、東証プライムに上場しているポンプ、タービン等の風水力機械、浄水設備・排水処理装置等の環境装置・設備等の製造・販売を行っている会社である。このたび、ポンプ等に取り付けることで 24 時間の遠隔監視が可能な小型センサーとクラウドシステムを開発したため、メンテナンス業界への展開を目的に入会を希望している。推薦会社は、株式会社 シミズ・ビルライフケアである。

第 2 号議案 委員会委員の追加選任について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された

■提案説明

広報委員会は現在、吉澤委員長をはじめ 6 名の体制であるが、委員数が比較

的少ないことに加え、この間、メンバーが固定化してきたため、新たに株式会社ツカサ美装代表取締役の庄司和明様を追加選任する。

第2 報告事項

1 全国協会報告

(1) 2022年定時総会の実施報告

全国協会の2022年定時総会は、7月21日に徳島市で開催された。

コロナ下での開催だったが、会場出席のほか、書面による議決権の行使等での審議により、2021年度の事業報告、決算、定款及び定款施行細則改正の3議案について、原案どおり承認された。

総会后、表彰式及び会員交流会も盛大に終了することができた。来年は、東京での開催となる。

(2) 第53回実態調査の実施

本件は、毎年実施している実態調査への回答の協力依頼である。回答期限は9月30日。業界が抱える問題を関係各所に働きかける根拠となる資料として、説得力のある精度の高いデータが必要となる。質問事項を絞り、回答の負担を軽減したほか、インターネットからの回答も可能である。前回調査の回答率は全国平均で46.3%だった。調査票への回答のほか、周りの会員企業にも協力の声かけをお願いしたい。

(3) 新・世界ビルメンテナンス大会の開催

スウェーデンのストックホルム等で開催の同大会だが、このたび日本団として20名が出席することとなった。日程は10月10日(月)から16日(日)までである。

(4) ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO2022 の開催

会期は10月26日(水)から28日(金)の3日間、時間は10時から17時である。会場は東京ビッグサイト東展示棟で、展示会や講演など多数ある。コロナ禍のため、開会式、テープカット等は実施しないので、分散来場に協力いただきつつ、多くの方に来場いただきたい。

2 委員会報告

(1) 総務委員会

ア 滞納会費の取扱い

正会員だった T 株式会社は、平成 28 年 9 月から 7 か月分の会費を滞納したことから、平成 29 年 4 月の理事会で会員資格を喪失した。滞納額は、11 万 2,000 円。

事務局では、「滞納会費の取扱いに関する申合せ事項」に沿って、平成 29 年に現地調査を行ったが、既に会社の実態はなかった。その後、代表者の自宅への電話連絡のほか、督促状や内容証明郵便の送付など、様々な方法により繰り返し 5 年以上滞納額の回収に努めてきたが、回収できていない。

これ以上の進捗は難しいことから、「滞納会費の取扱いに関する申合せ事項第 2 項 (4)」を適用し、滞納会費を償却する。償却日は、令和 5 年 3 月 31 日。なお、同社以外には、現在会費滞納会社は無い。

イ 当協会の名義使用

全国ビルメンテナンス協会が主催する「ビルメンヒューマンフェア & クリーン EXPO2022」について、今回も「共催」の名義使用依頼があったため、承認する。

(2) 労務管理委員会

ア 労働安全衛生大会開催及び大会宣言

同大会を 10 月 7 日 (金)、14 時から 16 時にて、ビルメンテナンス会館で開催する。会場を 2 つに分け、別会場では映像を投影した参加とするなど、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら実施する。

業界の内外に広く「労働災害撲滅」を訴え、協会一丸となった姿勢を表すため、役員には大会への出席をお願いする。

大会の開催にあたり、例年協会の「大会宣言」を読み上げ、業界の「労働災害撲滅」への取組推進を訴えている。今回の宣言の特徴は、

①労働災害の中でも最も多い転倒の防止への取組みに引き続き注力
をすること

②今年度は東京労働局が策定する 5 年間の第 13 次労働災害防止計画

の最終年度に当たり、また当協会の60周年と重なる節目であるため、より一層の安全衛生管理に努めること等、簡潔に明記した。

イ 東京都最低賃金の引上げ

今年度の最低賃金額改定が決定し、東京都では10月1日から31円上がって、1,072円とすることが東京労働局より周知された。

(3) 厚生委員会

これまで新型コロナウイルスの影響により中止となった事業が多くあったが、今回は3事業を、十分な感染対策を実施し開催する。

ア 第59回東京都交響楽団演奏会特別招待募集の案内

10月24日に開催する。

イ 各開催案内

(ア) ゴルフ大会

11月9日に茨城ゴルフクラブにて開催する。

(イ) ボウリング大会

11月18日に王子サンスクエアボウルにて開催する。

(4) 経営研究委員会

東京都財務局との意見交換会の実施

毎年東京都財務局と行っている意見交換会を、今年は8月29日に実施した。コロナ禍により、昨年までは郵送やオンライン開催であったが、今年是对面での開催となった。協会からは官公庁契約小委員会の委員が出席、東京都からは契約第二課長や契約調整担当課長等が出席し、意見交換の後に要望書の手交も行った。

例年と大きく変わった点は、

- ①長年要望してきた総合評価方式入札の時期の前倒しに関し、令和5年4月以降からの前倒しの可能性について、先方から話があったこと
- ②障害者雇用にかかる入札参加資格定期受付に関する要望について、障害者雇用率の算定根拠資料の提出が必須となるように変更されたことである。

今後も粘り強く要望活動を進めることで、業界発展に努めていく。

(5) 障がい者等自立支援委員会

ア 令和4年度 都立知的障害特別支援学校清掃技能検定に係る 審査員講習会講師及び審査員の派遣

東京都教育庁指導部から、令和4年度都立知的障害特別支援学校清掃技能検定に係る審査員講習会講師と審査員の派遣依頼があった。8月19日、22日に開催した審査員講習会に委員4名を派遣し、中学校教員33名に対し、清掃の知識に関することを基礎編、実践編として指導した。

また、10月から来年2月にかけて開催する清掃技能検定に、委員6名を10回派遣する。

イ セミナー等の実施報告

(ア) 精神障がいのある方の採用・雇用管理

近年、精神障がいのある方の就労希望が、知的障がいの就労希望を超えている。このような状況を受けて、7月19日、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京障害者職業センター障害者職業カウンセラーの森田萌氏を講師として、「精神障がいのある方の採用・雇用管理オンラインセミナー」を開催した。ウェビナーによる配信で、聴講者は37名。聴講者からは、「精神障害の特性がよく分かった」「指導する側への対応も大事なことだ」などの感想をいただいた。

(イ) 夏休み企業見学会

特別支援学校保護者に実際のビルクリーニングを知ってもらうことを目的に、太平ビルサービス株式会社東京支店にご協力いただき、8月26日に「夏休み企業見学会」を開催した。特別支援学校5校から保護者・生徒12名が参加し、実際の現場作業や研修などを見学。保護者からは、「想像よりハイレベルな作業だった」「向上心が生まれそうな職業だと思った」などの感想が寄せられた。

(6) 60周年記念事業実行委員会

60周年記念事業の収支報告等

7月の理事会では、先般開催した60周年記念事業について実施報告し

たが、このほど収支結果がまとまったので、報告する。

収入の部は、祝賀会で会員から参加費、来賓の一部からは参加費相当額のお祝いをいただき、合計 74 万円となった。

支出の部は、中項目として、記念式典、祝賀会、記念誌制作の 3 つがある。

記念式典は、予算額 1,017 万円に対し、812 万円の執行となった。招待状や表彰状の印刷費や発送費等のコスト削減の他、記念品の発注数の見直しを行い、執行残が出た。

祝賀会では、予算額 1,010 万円に対し、879 万円の執行となった。当初、立食を想定して予算を確保したが、コロナ禍から着席式へと変更した。1 名当たりの単価は上昇したものの、参加人数が当初の想定を下まわり執行残が出た。

記念誌の制作は、ほぼ予算どおりだった。

最終的な収支は、予算額 2,421 万円に対して、執行額から収入額 74 万円を差し引いた額は 2,014 万円、407 万円が執行残となり、予算の範囲内に収まった。

また、本事業については、業界紙など 4 社が記事掲載をした。

本事業は今回の収支報告をもって全て完了したので、実行委員会は解散する。長期間にわたるご協力に感謝申し上げます。

(7) ビルメンテナンスフェア実行委員会

ビルメンテナンスフェア TOKYO2022 の実施報告

同催事は 7 月 14・15 日に開催したが、出展社は、前回開催の 2018 年より 1 社多い 30 社。広報活動として、案内はがき約 3 万枚の配付、山手線主要駅へのポスター掲載などを実施した。

当日はあいにくの悪天候だったが、2 日間で約 2,500 人が来場、佐々木会長にも出席いただき、ダマルの目入れなどオープニングセレモニーを実施した。アンケートの回答では、リニューアルした会場である浜松町館の満足度が高い結果となった。

3 他団体への派遣報告

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から、全国協会を通じ2件の派遣依頼があり、全国協会宛て推薦した。

1件目は、来年3月にフランスのメッス市で開催される「第10回国際アビリンピック」への派遣である。その専門部会に、専門委員として当協会事務局専任講師の北山克己氏を推薦した。

2件目は、11月に幕張メッセで開催される全国障害者技能競技大会（アビリンピック）への技能競技補佐員の派遣である。当協会の障がい者等自立支援委員会巡回指導小委員会委員6名を推薦した。

4 事務局報告

(1) 主な出来事（7・8月）

7月5日：第122回理事会

12日：東京選出の全国協会代議員会議

13日：地区本部会議

14・15日：ビルメンテナンスフェア TOKYO 2022

於）都立産業貿易センター浜松町館

21・22日：全国協会2022年定時総会及び表彰式・会員交流会

於）徳島市

(2) 今後の予定

10月4日：三役会

7日：労働安全衛生大会

10～16日：第1回新・世界ビルメンテナンス大会2022

in スウェーデン・スペイン

11月1日：三役会、第124回理事会

12月6日：三役会

令和5年1月16日：三役会、第125回理事会、新年賀詞交歓会

於）ハイアットリージェンシー東京

(3) 会員数の推移

正会員514社、賛助会員70社（9月1日現在）

5 その他

令和4年度 緑十字賞受賞

中央労働災害防止協会では、産業安全又は労働衛生の推進向上に尽力し、功績のあった方を対象に緑十字賞表彰を行っているが、今般、当協会労務管理委員会委員、高梨義博様が受賞された。表彰式は10月19日、福岡市のマリンメッセ福岡で開催される全国産業安全衛生大会において実施される。

(了)